

家庭ファースト！「Let's 防災」ポスターをつくろう！

目的や形式に合わせて書こう(東京書籍4年下)

本単元で育成する資質・能力

課題発見力

思考力・判断力・表現力

主体性

自己肯定感

1 単元について

【単元観】

本単元は、主として小学校学習指導要領解説第3学年及び第4学年の「書くこと」のイ「文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること」、ウ「書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと」を受けて設定している。

今年度1年間かけて学習してきた総合的な学習の時間の活動での防災教育の学びを家庭に伝える手段として、児童は、ポスターという発信方法があることに気付いた。そこで、ポスターの特徴や目的を明らかにし、その形式について教材文を通して学び、国語科での学びを総合的な学習の時間に活かしていくという単元を構成した。

ポスターには、見出しやキャッチコピーなどの短い言葉や文、文章で見る人をひきつけ、図や表なども活用することによって、自分の言いたいことをより効果的に強調して伝えることができるという特徴がある。そこで、災害に備えるためにポスターを作るという活動を通して、必要な内容や資料を選んだり、見出しや説明の文章、また資料提示の仕方等を工夫して書いたりすることができることをねらいとした。また、本単元で身に付けた目的に合わせた形式で文章を書き、ポスターを仕上げるという力を国語科以外の場面でも伝える相手や目的に合った形式で書く力につなげていけるようにする。

【児童観】

児童は、4年上「みんなで新聞を作ろう」で、読み手の興味をひく分かりやすい新聞を作るという目的のもと、新聞の見出しや記事の書き方を工夫して書く活動を経験している。その後、今年度の学校行事の楽しさについて保護者に伝えるという目的の新聞を作成した。児童は新聞の構成や特徴について理解し、新聞作成に関わる知識・技能を習得し、新聞の形式に慣れてきている。しかし、伝える内容については、事実や感想などの伝達にとどまるものが多かった。

本単元に入る前に実施した、平成28年度「基礎・基本」定着状況調査の国語タイプⅡ(図)1での平均正答率は63%であり、必要な情報を取り出し、理由や事例を挙げて書くことに課題がある。

【指導観】

本単元は、国語科での「課題の設定」の前に、総合的な学習の時間や図工科の学習と関係付けて、児童がポスターの目的について理解を深められるようにする。実物のポスターとチラシを提示し比較させながら、児童自らがポスターで、「誰に」、「何を」、「どのように」伝えるかという特徴や目的を気付かせることができるようにする。それらの内容について教材文を通して確認し、「伝える目的に応じた形式で書く」力を育てたい。

指導に当たっては、既習の内容をふまえながら、必要な内容や資料の選定、見出しや説明の文章構成、資料提示の仕方について理由や根拠を明確にさせ、相手や目的を意識して考え、書く場を設定する。また、構成や表現については、条件を提示し、対話を通して考える場を設け、主体的・協働的に課題を解決できるようにしたい。

2 単元の目標

- ポスターの目的や特徴をとらえ、必要な内容や資料を選んだり、見出しや説明の文章、資料提示の仕方を工夫したりしてポスターを作ろうとしている。 【国語への関心・意欲・態度】
- 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことができる。 【書くこと ウ】
- 文章全体における段落相互の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成することができる。 【書くこと イ】
- 文の構成について初歩的な理解を持つことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(キ)】

3 単元の評価規準

資質・能力 思考力・判断力・表現力	・ポスターを作成するために収集した複数の事柄や資料について、比較・分類したり、関連づけたりしながら自分の考えが明確になるように表現することができる。	
国語への 関心・意欲・態度	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
・目的に応じた伝え方の工夫に興味を持ち、ポスター作りに取り組もうとしている。	・文章全体の形式と構成をとらえ、見出しや資料、説明の文章などを考えている。(イ) 思考力・判断力・表現力 ・ポスターを書く目的に応じ、必要な内容や資料を選び、書いている。(ウ) 思考力・判断力・表現力	・文の構成について初歩的な理解を持ち、ポスターを完成させている。イ(キ)

4 指導と評価の計画（国語 全5時間）

次	時	学 習 活 動	評 価	
			教科の評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
単 元 前		課題の設定（総合的な学習の時間） ・これまでの学びを、「誰に、どんな方法で、どんなこと」を伝えたいかを話し合う。	これまでの総合的な学習の時間の学びを伝えたいな。国語の学習で習ったことを使うと新聞やポスターで伝える方法があるね。	
第 一 次	1	課題の設定（国語科） ・収集したさまざまなポスターから、学習のゴールイメージを持ち、学習計画を立てる。	【関】 災害時に備えて気をつけることをポスターにまとめて書くことに意欲を持って取り組もうとしている。 （行動観察・発言）	
第 二 次	2	情報の収集、整理・分析 ・書く事柄の分類を理解し、ポスターの形式を確認する。	【書】 事柄の分類について考えとともに、ポスターの書き方を理解している。 （発言・ノート）	
	3	・ポスターの形式に合わせて適切な内容や資料を選び、必要な事柄を書く。 [第1回編集企画会議]	【書】 ポスターを書く目的に応じ、必要な内容や資料を選び、書いている。 （ワークシート・行動観察）	
	4	まとめ・創造・表現 ・書いた文や文章を交流し、条件や構成について考えて修正する。 [第2回編集企画会議]（本時）	【書】 ポスターの目的に応じた構成や条件をもとに文章を書いている。 （ワークシート・行動観察） 【言】 前後の言葉や文に合うように、文の構成を意識して、空欄に入る文を書いている。 （ワークシート・発言）	
総 合 的 な 学 習 の 時 間		実行（総合的な学習の時間） ・これまでの学びをもとに、ポスターに書く情報を収集・整理する。 ・必要な内容や情報を選び、「Let's 防災ポスター」を書く。 ・ポスターをもとに地域に伝える。	友達と助言し合うことで、伝えたいことがよくわかるポスターになったよ。 国語で身に付けた伝える目的とポスターの形式を考えて工夫して書く力を総合的な学習の時間にかいて「Let's 防災」ポスターをつくるよ。	
第 三 次	5	振り返り ・伝える目的と形式を考え、書き方を工夫してポスターを作ることができたかを振り返る。	【書】 友達とポスターを読み合い、文章のよいところや、資料を選んだ理由などを伝え合っている。（行動観察・発言・ノート）	【思考力・判断力・表現力】 ポスターを作成するために収集した複数の事柄や資料について、比較・分類したり、関連づけたりしながら自分の考えが明確になるように表現することができる。（ポスター・振り返り）

5 本時の目標

- ・ポスターを書く目的に応じた構成や条件をもとに文章を書いている。 **【書くこと／ウ】**
- ・前後の言葉や文に合うように、文の構成を意識して、空欄に入る文を書くことができる。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(キ)】

6 本時の展開

	学習活動（時間）	◇指導上の留意点 ◆主体的な学びを促す教師の手立て	評価規準（評価方法） めざす児童の姿（吹き出し）
課題の設定	1 本時のめあてを確認する。（3分）	◇単元のゴールを確認し、ポスター例の（ア）、（ウ）に入れる文や文章を書き、ポスターを仕上げるという見通しをもてるようにする。 ◎見る人をひきつけ、知らせたいことが伝わる文章を書くことができる。	知らせたいことが伝わる文章にするには、文の長さや文末を工夫して書くことがポイントだね。
	2 教科書p. 126のポスター例に入れる文や文章について考える。 ①（ア）に入る文について考えて書き、その理由や根拠を交流する。（9分） ②（ウ）に入る文章について構成や「条件」について確認する。（7分）	◇（ア）に入る文についてのメモや本文をもとに考えて書くようにし、交流では表現について具体的に意見を述べ合えるようにする。 ・小見出しはパッと見て分かるように短い文で ・文末は「みんなで用意しよう」に合わせて「～しよう。」にする。（呼びかけ） ・「みんなで」と対になる言葉を入れる。 ・本文の「それぞれが用意しておきましょう。」から考える。 ◇本時のねらいに即して、「条件」や構成に修正が必要な文章を提示し、修正する視点を短時間で確認し、全体の認識をそろえる。 ① 1段落の「次の二つのことに気を付けて」 ② 2段落の「一つ目は」 ③ 3段落には「二つ目は」も書く。 ④ 4段落の「この二つを」 ・文字数は60字ぐらいで	
情報の収集	3（ウ）に入る文章を書き、グループで交流後、修正する。（12分）	◇確認した「条件」や構成をもとに書くようにする。 ◆書けたら、（ウ）の文章の「条件」をもとに読み直す。（作品との対話） その後、グループで読み合い、「条件」や構成と整合しているかを確認する。（友達との対話） ◇文章のどこをどのように変えるのか、グループで話し合ったことをもとに修正する。	二つのことを書くのだから「二つ目は」を3段落目に一まずあけて書くことを忘れないようにしましょう。
	4 修正した文章を交流する。（5分）	◆電子黒板を使って、修正前と修正後の文章を比較し、全体で交流しながら、本時のまとめにつなげる。	
整理・分析	5 本時のまとめをする。（5分）	◇本時の学びをつなげながら、「見る人をひきつけ、知らせたいことが伝わる文章を書くコツ」という視点でまとめる。	【書】 ・ポスターをかく目的に応じた構成や条件をもとに文章を書いている。 （ワークシート・行動観察）
まとめ	6 本時を振り返り、次時につなげる。（4分）	◇単元のゴールとつなげ、「今日の学習で学んだこと」、「今日の学習の学びを総合的な学習の時間にどう活かすか。」という視点で振り返りを書くようにする。	【伝】 ・前後の言葉や文に合うように、文の構成を意識して、空欄に入る文を書いている。 （ワークシート・行動観察）
振り返り	<p>【例】 ぼくは、最初に考えていた文章でよいと思っていたけど、構成や条件についてはあまり意識していなかったので、友達からのアドバイスどおりに常体を敬体に修正すると、内容が丁寧で落ち着いて行動することの大切さが伝わりやすい文章になりました。総合的な学習の時間の「Let's 防災」ポスターを書くときには、敬体で書くことや文末の「～しよう。」の表現を使って見る人の心をひきつけたいです。</p>		

7 板書計画

二月十日（金）

めあて 見る人をひきつけ、知らせたいことが伝わる文章を書くことができる。
分かりやすい文章

メモ

ポスターの例

(ア)

一つ目は、
(ウ)

(ア) 小見出し

短い文で

文末「くしよう」合わせる

みんな

本文から



対

エラー文

(ウ) 本文

一段落 「次の二つのこと」

二段落 「一つ目は」

三段落 「二つ目は」

文字数 六十字ぐらい

深い学びへ

- ①個人で書く（見直しをする）
- ②グループで交流する
- ③交流したことをもとに書き直す
- ④全体で交流する

まとめ

見る人をひきつけ、知らせたいことが伝わる文章を書くコツ

見出しを工夫する（よびかけ）

本文

・段落を意識しきする

・短い文で書く

・よびかけの文を入れる

ふり返り